

## 学位論文審査の要旨

		要 旨
学位申請者	李小妹 【ジェンダー学際研究専攻 平成20年度生】	<p>李小妹さんは修士時代から、中国深圳市の都市開発とそこに創られた華僑城テーマパークを研究対象としてきた。博士学位申請論文の審査委員会は、主指導の熊谷、副指導の水野教授に、政治学の小林教授、都市地理学の宮澤准教授、中国現代社会の専門家である宮尾教授を加えて構成した。</p> <p>6月18日の代議員会で審査委員会の設置が正式に認められた後、6月27日に第1回の審査委員会を開催した。その中では、ネーション創出、少数民族のエンパワーメント、様々な意味と意図が交錯する空間としてテーマパークを捉える視点が魅力的であるという評価の一方、フィールドワークの成果が十分具体的に示されていないこと、中国の国家論が不十分であることなどが、指摘された。さらに論文題目を「深圳市の都市空間」から「華僑城テーマパーク」に絞ることが指示された。論文の内容とは別に、申請者が博士論文の提出要件は満たしているものの、学会誌への論文掲載がないことを問題視する意見もあったが、申請者が日本で行われた2回の地理学の国際学会で英語のペーパーを提出し、若手奨励賞を受賞するなど高く評価されていることから、研究者としての資質は認められると判断された。</p> <p>8月4日の第2回審査委員会には、第1回での指摘に沿って、タイトルと論文構成を変え、深圳市および華僑城の開発過程、フィールドワークの記述を加筆修正した論文が提出された。委員会では、改善の方向性は評価されたものの、記述にまだ精粗がみられることなどが指摘され、再度の改稿が求められた。</p> <p>8月27日の第3回審査委員会には、研究の枠組みと先行研究のレビューを組み替え、中国における観光業の勃興の歴史を加え、華僑城の3つのテーマパークの表象をモダニティ、ナショナリティ、エスニシティの順に整理し、フィールドワークのインタビュー対象者の詳細を加えた改稿論文が提出され、評価を得た。</p> <p>9月2日の公開発表会では、申請者から配布資料と地図・景観写真を用いて、研究内容が紹介された。発表後の質疑応答では、ルフェーブの「空間の生産」論を基盤とした研究の理論的な枠組みに質問が集中した。申請者の回答はすべてについて十分なものではなかったとはいえ必要な応答がなされ、充実した議論が交わされた。公開発表後の審査委員会では、公開発表時のプレゼンテーションについては物足りなさを覚える声が多かったものの、これまでの論文の発展の過程が評価され、博士(社会科学)、Ph.D. in Human Geography and Chinese Studies にふさわしい研究として、合格と判定された。</p>
論文題目	中国・深圳華僑城テーマパークにおける空間の表象と少数民族若者の日常実践	
審査委員	(主査) 熊谷圭知 教授	
	水野勲 教授	
	小林誠 教授	
	宮澤仁 准教授	
	宮尾正樹 教授	
インターネット公表	<p>○ 学位論文の全文公表の可否 ( 可 ・ ⊗ )</p> <p>○ 「否」の場合の理由</p> <p style="margin-left: 20px;">ア. 当該論文に立体形状による表現を含む</p> <p style="margin-left: 20px;">イ. 著作権や個人情報に係る制約がある</p> <p style="margin-left: 20px;">⊗. 出版刊行されている、もしくは予定されている</p> <p style="margin-left: 20px;">エ. 学術ジャーナルへ掲載されている、もしくは予定されている</p> <p style="margin-left: 20px;">オ. 特許の申請がある、もしくは予定されている</p> <p>※ 本学学位規則第24条第4項に基づく学位論文全文のインターネット公表について</p>	